

水陵会だより

Number 29

●発行人／米子市長砂町 鳥取県立米子南高等学校
 (水陵会) 会長 門脇 一男
 TEL 0859-33-1641・FAX 0859-33-1642
 ●印刷所／東京印刷株式会社

楽しみな卒業生、在校生！



水陵会会長
門脇 一男

この度、杉原弘一郎会長の跡を引き継ぎ、新会長に就任しました門脇一男(昭和50年、商業科卒)と申します。若輩者ですが、末永くよろしくお願ひ申し上げます。

さて、本校は今年で創立92周年となります。100周年まであと8年、いやもう8年しかありません。というのも、92周年を盛大にお祝いしたあと、あつと言う間に2年が経ちました。このままでは本当にあつと言う間に8年が経ちそうな予感がします。

水陵会の役員会では、今からできる準備はしておこう、という意見も出ています。100周年事業は伝統を守りつつも斬新なものも取り入れたいと考えています。同窓生の皆さんからも様々なご意見、ご要望をお寄せいただきたいと思います。何なりとお申し付け下さい。



さて、現役の生徒たちに目を向けますと、体育部、文化部それぞれの活躍が目覚ましく、インターハイ等の全国大会に多くの部や団体、個人が出場しています。また、2020年開催の東京オリンピック、パラリンピック出場を目指し、昼

夜を問わず血の滲むような努力をしている卒業生もいます。その中で、平成30年度卒業生三上紗也可さんが、7月に韓国の光州などで行われた水泳の世界選手権女子3メートル板飛び込みで決勝に進み、東京五輪出場内定を決めました。現役の生徒そして卒業生が頑張ってくれているお陰で、来年の2020年が非常に楽しみにになりました。まずは鳥取県予選会に、そして、インターハイ、各種全国大会、オリンピック、パラリンピックに出来る限り応援に出掛けたいと思ひます。

頑張ってください。あゝ、嬉しい悲鳴の2020年になりそうです。結びになりませんが、本校の益々のご発展と、卒業生、在校生の皆さまの更なるご活躍を祈念して私からのご挨拶とさせていただきます。

皆さまのご協力を何卒よろしくお願ひ申し上げます。

大胆な挑戦



学校長
永野 智之

嬉しいニュースが届きました。今春、生活文化科を卒業した三上紗也可さんが、韓国で開催された世界選手権大会で5位となり、来年開催される東京オリンピックの水泳飛び込み競技の代表に決まりました。水

陵会会員のオリンピック出場は、川中香緒里さんが出場したロンドン・リオデジャネイロに続き3大会連続となります。皆さんと、一緒に三上さんのオリンピックでの活躍を期待し、応援したいと思ひます。

さて、米子南高校の校長として二年目となりました。昨年は、米子での総会を始め、6月に関西地区、11月には関東地区の水陵会つどいに出席させていただきました。同窓生の皆様の母校への熱い思いを聞かせていただきました。水陵会会員の皆様には、日頃から母校の活動、生徒の活躍を応援・ご支援いただき、感謝申し上げます。

今春卒業した147名は在学中、勉強、部活動、学校行事、検定試験などに真剣に取り組み、3年間で心身共に大きく成長しました。進路状況は、大学12名、短大19名、専門

学校47名など進学が80名、就職は県外8名を含め62名でした。就職のうち49%が事務職での採用で、近年この割合が上がつてきています。会員の皆様の勤務される企業等にも本校卒業の新規採用者がいるかもしれませぬ。水陵会の先輩として、社会人の先輩として、厳しく鍛え、また、暖かく見守り支えていただきますよう宜しくお願いいたします。

今年度も南高の生徒は学業に、部活動に、地域貢献活動に頑張っています。8月に九州4県を会場に開催された全国高校総体には、ボート、アーチェリー、弓道・柔道の4競技に選手が出場しました。特に弓道は、県総体において女子が団体、個人で優勝、男子が個人で2位となり全国大会出場を果たしました。全商協会主催の全国競技大会においても、簿記・情報処理・珠算・ワープロの4競技に県代表として出場しました。放送でも全国大会に出場しています。また、調理コース2年生の大川真侑さんが、日本調理師会が主催する「全国こどものための愛情弁当コンテスト」において、2500以上の応募作品の中で最優秀賞に輝きました。9回目となるコンテストにおいて本校の生徒の日本一は今回で3回目となります。地域貢献活動にも積極的に取り組む、6月に実施された中海・斉清掃に生徒・教職員・保護者総勢80名以上が参加し、本校にアダプトされた湊山公園湖岸の一面の清掃を行いました。

今年度は新天皇即位に伴い元号の変わる、時代の変わり目の年となりました。時代がチェンジする年、課題の山積する時だからこそ、自らの成長、課題解決のためにこの変化をチャンスと捉え、様々なことにチャレンジして欲しいとの思いを込めて、米子南高校の今年度の目標を「大胆な挑戦」としました。「停滞は後退である。」「失敗は恥ずかしいことではない。恥ずべきは、そこから立ち上がらないことだ。」「との思いを持って、失敗を恐れず、未知のこと、今までやろうとして出来なかったことなどに大胆に挑戦して欲しいと思ひます。これは、生徒のみならず、教職員そして何より米子南高校そのものの目標であると考えています。

この3年間、高校入試において商業学科の定員割れが続いています。幸い家庭学科は環境文化コース・調理コースともに定員以上の志願者がある状況ですが、米子南高校の魅力、商業学科の魅力をよりの確に中学生・保護者に伝え、関心を持ってもらう方策を工夫する必要があります。その一つとして今年度からホームページのほかにFacebookでも学校の情報を発信しています。是非ご覧いただき、発信の方法、内容についてご意見をいただければ幸いに思ひます。

創立93年目を迎え、来る100周年の節目に向かい、米子南高校の良き伝統を引き継ぎ、地域に信頼され、生徒が自らの成長を実感できる、魅力ある学校づくりを今年度も教職員一丸となり推し進めて参りますので、会員の皆様には引き続き、ご支援・ご協力をお願いいたします。

平成三十年度卒業生の進路状況について

平成30年度卒業生の進路状況は、進学が80名、就職が62名でした。割合としては、進学が54%、就職が42%でした。なお100%に満たないのは、2020年の東京オリンピックを目指すため競技に専念する生徒等があったためです。

進学状況は、4年制大学が12名、短期大学が19名、専門学校等が49名でした。国公立大学は鳥取環境大学に1名が合格しました。私立大学では、鳥取看護大学、大阪経済大学、大阪商業大学、流通科学大学、広島経済大学、環太平洋大学、美作大学、日本体育大学などに合格しました。

短期大学は、国公立短大には、大月短期大学に合格しました。私立短大では、鳥取短期大学、大阪成蹊短期大学、関西外国語大学短期大学部、大阪健康福祉短期大学など、多分野にわたって合格しました。特に幼児教育学科への進学希望者が多くなりつつある傾向にあります。

専門学校は看護師、理学療法士、作業療法士などの医療系分野に進む生徒が増える傾向にあるのが近年の特徴であり、31%がこの分野に進学しました。その他にはビジネス、調理、製菓、美容など様々な分野へ進みました。

前年度より進学率は2ポイント下がりました。進学先の割合は、大学15%、短大24%、専門学校61%で、前年と比較すると短大が4ポイント、専門学校が6ポイントそれぞれ

上がりましたが、大学が4ポイント下がりました。

進学した生徒は、早くからオープンキャンパスや学校説明会等に積極的に参加し、進学先についてよく研究している姿がうかがえました。多くの生徒が専門高校の特色をいかし、資格取得や専門教科による推薦入試、AO入試で受験します。夏休み期間中は、英語、数学、現代文等の対策講習を受講し、また小論文の個別指導を熱心に受ける等、入試に向けて着実に力をつけました。

就職状況は、県内就職54名、県外就職8名の合計62名の生徒が内定をいただきました。職業分類別では、事務職49%、サービス24%、製造19%、販売8%でした。

主な就職先は、山陰合同銀行、中国労働金庫、米子信用金庫、山陰信販、日本郵便、西日本旅客鉄道、鳥取西部農業協同組合、ミネベアミツミ、イオンリテール、鳥取ダイハツ販売、寿製菓等の会社から内定をいただきました。前年度にはなかった特徴として、美保テクノス、ダイニチ技研、広洋コンサルタント等の専門職の内定をいただいたことであり、技術や専門的スキルを身に付けることのできる専門職を目指す生徒が出てきたことがあります。

昨年の雇用環境は、ここ数年の企業の高い採用意欲に支えられ、就職希望生徒にとって有利な状況が続いたと考え



2019.7.10 1年生礼法指導の様子

られます。その結果平成31年3月末時点の県内高校生の就職状況は、学校紹介で内定率100%という結果を残しました。この数字は平成10年3月末以来21年ぶりの記録でした。本校の就職も10月末で95%の生徒の内定が決まり、職種でも前年に引き続き多くの事務職の採用をいただくことができました。今年度も4月より、定着指導として県内就職先はすべて、進路指導部を中心に卒業生の様子を見てきましたが、多くの事業所でよくやっているとのお褒めの言葉をいただいています。

校内では、日頃より明るく元気な挨拶が自然と交わされています。このような環境で、部活動に、勉強、各種検定取得に励み、とても素直な生徒が育っています。今後とも窓会の皆様には、米子南高校を温かく見守っていただきたいと思います。

(進路指導部)

東京水陵会

第61回を迎える今年度総会は来る11月10日(日)午前11時30分から霞ヶ関の東海大学校友会館で開催いたします。今年も好評であった落語会の催しを検討しております。

昨年は母校より永野校長、本湖水陵会竹上副会長、在京の鳥取県東部本部榎田主幹、東京かしの会(境高)、東京米城会(米子東)、米工会(米子工業)、からご出席頂き総勢34名の参加で開催いたしました。

開会挨拶の後、永野校長から母校の近況報告、竹上副会長から創立90周年のお話、米子の明るい近況を聞かせて頂きました。

60回総会として落語会を開催し、人間の見栄、知ったか振りの話が筋道からドンドン外れていく滑稽さの面白、可笑しさを堪能。

恒例となつている郷土の新米の争奪ジャンケン大会の後、校歌、応援歌を皆で合唱し来年の再開を約し大会を終えることが出来ました。

(東京水陵会会長 井田年厚)

関西水陵会

去る6月15日(土)、大阪第一ホテルで第61回関西水陵会のおつどいを開催し、33名が出席しました。冒頭、水陵会杉原名誉会長、永野校長、鳥取県関西本部岸田副本部長から母校や県の近況紹介がありました。中でも母校の在校



2019.7.24 三上さんオリンピック出場内定報告来校

生中男子生徒率がわずか6.3%という数字には驚きました。

今年の大きな話題は、来年の東京オリンピックに出場が期待される母校出身者が4名いることで、とても楽しみなことです。

懇親会の中で、米子北高同窓会の近藤盛一会長(マジカル近藤)によるマジックショーを楽しみました。地元でも活躍する近藤さんの鮮やかな演技に皆さん目を凝らしていました。

また、この日の出席者の最高齢である濱本元博さん(85)が青春時代に中国、台湾で貿易の仕事に情熱を持って果敢に挑戦したことを熱く語られました。母校の教育目標「大胆な挑戦」に通じるようです。

来年は6月13日に開催します。多くのご参加をお待ちします。

(関西水陵会会長 遠藤 稔)

同期の方からのお誘いもあるかと思いますが、準備の都合がありますので、10月3日(木)までに出席の連絡をいただきますようお願いいたします。

毎年、当日突然お見えになる方がおられ、会場担当者に大変なご迷惑をおかけし、かつ皆様方の料理も準備できかねますので、かならず事前に連絡いただきますようお願い申し上げます。

水陵会のおつどい案内

●日時 10月14日(月)・祝
16時30分 受付
17時00分 つどい
17時30分 杉原弘一郎
名誉会長による講演会

●会場 18:00 懇親会
ANAクラウンプラザ
ホテル米子

●会費 五,〇〇〇円

母 校 生 徒 の 活 躍

(7月24日現在・順不同)

鳥取県高校総体結果

部	成 績 他
アーチェリー	女子団体 優勝(山本志織・宮崎花菜・澤口拓実・森 虹香)(インターハイ出場) 男子団体 3位(影山大貴・坪倉幸太郎・畑孝士朗・孔一都輝) 女子個人 優勝 山本志織 2位 宮崎花菜 5位 澤口拓実 6位 四元亜弥
弓道	女子個人戦 1位 船岡 希(インターハイ出場) 女子団体戦 1位 女子団体戦最高の中教賞 渡邊有紀 20射20の中(インターハイ出場) 男子個人戦 2位 谷野智康(インターハイ出場)
ソフトテニス	女子団体戦 1回戦 米子南2-1 倉吉総合産業高校 2回戦 米子南0-2 鳥取商業高校 女子個人戦 秋田留菜・白石寧々ペア 池田 萌・山田怜実ペア(中国大会出場)
ソフトボール	1回戦 米子南1-13米子西
卓球	女子団体(新井七海・山本美咲・足立萌華・吉持愛衣・影山菜摘) 1回戦敗退 米南2-3鳥取東 男子個人シングルス 3回戦 坂上悠太0-3鳥取西 女子個人シングルス 3回戦 足立萌華1-3倉吉東 山本美咲0-3鳥取敬愛
バスケットボール	2回戦 米子南79-48倉吉東 3回戦 米子南87-45青谷 準決勝 米子南73-85倉吉北 第3位 優秀選手 松本一花
バドミントン	男子学校対抗戦 1回戦 米子南3-2鳥取湖陵 2回戦 米子南0-3倉吉総合産業 ベスト16 女子学校対抗戦 1回戦 米子南1-3倉吉西 女子個人戦ダブルス 尾村彩光・池田萌々ペア 1回戦2-0鳥取商業 2回戦0-2境 ベスト32 女子個人戦シングルス 尾村彩光 1回戦2-0鳥取東 2回戦0-2境 ベスト32
バレーボール	1回戦 米子南 2-0 鳥取湖陵 2回戦 米子南 0-2 鳥取商業
ハンドボール	1回戦 米子南 14-22 米子西
ボート	女子ダブルスカル 優勝 児島麻鈴・井田汐音(インターハイ出場) 女子舵手付クオドルプル 3位 阪口琴音・渡部美羽・松本紗英・前田京香・川上美玖
陸上	100m 松崎瑠奈(予)13"07(-0.1)(準)13"01(+1.9) 北窓玲奈(予)13"23(-0.3)(準)13"06(+2.4) 北窓莉央(予)13"42(+0.2) 200m 吉田 舞(予)28"44(-2.6)北窓莉央(予)28"45(-1.5) 清水菜々(予)29"11(-0.3) 400m 福田愛美(予)1'04"82 権代美由紀(予)1'05"36 800m 福田愛美(予)2'33"22(準)2'31"97 権代美由紀(予)2'35"33 野口麻那(予)2'46"13 1500m 長岡未菜(予)6'26"34 400mH 宮平亜美(決)1'17"08 6位入賞(中国大会出場) 走幅跳 北窓玲奈(決)5m03(+3.2) 5位入賞(中国大会出場) 平谷南摘(決)4m52(+2.7) 大下愛香梨(決)3m36(+1.9) 三段跳 北窓玲奈(決)9m82(-1.0) 6位入賞 砲丸投 高塚陽菜 10m31 2位入賞(中国大会出場) 円盤投 高塚陽菜 32m09 2位入賞(中国大会出場) 4×100mR 吉田・北窓玲・松崎・宮平(決)50"54 6位入賞(中国大会出場) 4×400mR 福田・吉田・北窓玲・権代(決)4'17"46 6位入賞(中国大会出場)
水泳同好会	自由形50m 7位 下山 凜(中国大会出場) 自由形100m 4位 下山 凜(中国大会出場) 背泳ぎ100m 1位 中原京花(中国大会出場) 背泳ぎ200m 1位 中原京花(中国大会出場) 平泳ぎ100m 6位 長岡未菜(中国大会出場)
柔道	女子個人78kg級 1位 岡崎美穂(インターハイ出場)

中国大会結果

部	成 績 他
バスケットボール	第63回中国高等学校バスケットボール選手権大会 1回戦 米子南高校 49-91 慶進高校(山口県1位)
ボート	第63回中国高等学校ボート選手権大会 女子ダブルスカル 準優勝 児島麻鈴・井田汐音 女子シングルスカル 3位 渡部美羽
陸上	中国高等学校陸上競技対校選手権大会 400mH 宮平亜美(予)1'14"06 走り幅跳び 北窓玲奈(決)5m14 円盤投げ 高塚陽菜(決)27m60 砲丸投げ 高塚陽菜(決)10m83 7位入賞 女子4×100mリレー 吉田 舞・北窓玲奈・松崎瑠奈・北窓莉央(予)50"54 女子4×400mリレー 福田愛美・吉田 舞・北窓莉央・権代美由紀(予)4'24"43
アーチェリー	第44回中国高等学校アーチェリー選手権大会 女子団体 3位(山本志織・宮崎花菜・澤口拓実) 女子個人 3位 山本志織 5位 宮崎花菜
弓道	第62回中国高等学校弓道選手権大会 女子団体戦 予選敗退 女子個人戦 船岡 希 6-8位決定戦敗退 難波咲葵 予選敗退 男子個人戦 谷野智康 予選敗退
ソフトテニス	第62回中国高等学校ソフトテニス選手権大会 1回戦 秋田留菜・白石寧々0-4山陽女子高校(岡山) 池田 萌・山田怜実1-4石見智翠館(鳥根)
水泳同好会	第67回中国高等学校選手権水泳競技大会 女子50m自由形 予選敗退 下山 凜 女子100m自由形 予選敗退 下山 凜 女子100m平泳ぎ 予選敗退 長岡未菜 女子100m背泳ぎ 第7位 中原京花 女子200m背泳ぎ 第5位 中原京花

文化部活動報告

部	成 績 他
かるた	第43回全国高等学校総合文化祭佐賀大会 小倉百人一首かるた部門鳥取県予選会 岡本瑠花・松本亜佳里(近畿総文祭出場) 第41回全国高等学校小倉百人一首かるた選手権大会 鳥取県予選会 団体 2位
放送	第66回NHK杯全国高校放送コンテスト鳥取県大会 アナウンス部門優秀賞 川崎唯奈(全国大会出場)
商業クラブ(珠算)	第66回高等学校珠算・電卓競技大会 鳥取県予選会 珠算競技の部 団体総合競技の部 優勝 奥田真衣・丸井茉莉・松本彩花(全国大会出場) 個人総合競技 優勝 奥田真衣 2位 丸井茉莉 種目別競技 応用計算 優勝 丸井茉莉 読上算 優勝 丸井茉莉
情報処理	第31回鳥取県高等学校情報処理競技大会 団体の部 2位 個人の部 山本志織・谷野智康(全国大会出場)
ワープロ	全国高等学校ワープロ競技大会県予選 個人の部 1位 木村 湊(全国大会出場)
簿記	第35回全国高等学校簿記コンクール鳥取県予選会 団体2位 上田真帆佳・河上華矢・杉原美穂(全国大会出場)
調理	第9回全国こどものための愛情弁当コンテスト 最優秀賞 大川真佑 優秀賞 荒石結衣・権代美由紀



平成30年度特別会計収支決算書

自 平成30年 4月1日 至 平成31年 3月31日
鳥取県立米子南高等学校 水陵会

【収入の部】

項目	決算	備考
前年度繰越	459,431	
名簿販売	4,500	
雑収入	8	預金利息
合計	463,939	

【支出の部】

項目	決算	備考
議会会合費	27,698	
総会会合費繰出	195,254	
通信費	82	
次年度繰越	240,905	
合計	463,939	

90周年記念事業特別会計決算書

自 平成28年 4月1日 至 平成31年 3月31日

【収入の部】

項目	決算額	備考
80周年会計より繰越	1,283,858	
寄付金(現金)	2,633,469	
寄付金(振込)	3,381,534	
雑収入	30	預金利息
祝賀会会費	805,000	
合計	8,103,891	

【支出の部】

項目	決算	備考
祝賀会費	1,210,206	
記念品	57,600	いのみっちゃん
印刷費	1,035,987	趣意書・記念誌・祝賀会チケット他
通信費	2,850,132	はがき、切手、ゆうパック他
広告費	108,000	日本海新聞掲載料
撮影費	81,000	校舎ドローン空撮
謝礼金	103,000	祝賀会アトラクション他
事務用備品費	143,042	事務処理用パソコン他
臨時職員賃金	162,800	
議会会合費	70,008	実行委員会会合費
雑費	94,568	プリンタ用インク他
振込手数料	55,436	
合計	5,971,779	

同期生会を開催されるときは

事務局 (0859-33-1641) にご一報いただければ、清酒2本贈呈いたします。

また、必要であれば、宛名シールを提供いたします。尚、準備の都合上、一週間ほど余裕をいただければと存じます。さらに、大変申し訳ございませんが、1学年基本料金4,500円他のご負担をお願いしておりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

各期のご盛会をお祈りいたします。

平成30年度一般会計収支決算書

自 平成30年 4月1日 至 平成31年 3月31日
鳥取県立米子南高等学校 水陵会

【収入の部】

項目	予算	決算	増減	備考
前年度繰越金	1,010,738	1,010,738	0	
入会金	1,504,800	1,504,800	0	¥9,900×152名
会費	600,000	555,000	▲ 45,000	¥5,000×111名
協力金収入	0	392,000	392,000	
雑収入	62	4,420	4,358	東海水陵会の解散に伴う収入、預金利息
総会会合費繰入	300,000	195,254	▲ 104,746	特別会計より
特別繰入	0	0	0	
合計	3,415,600	3,662,212	246,612	

【支出の部】

項目	予算	決算	増減	備考
総会会合費	1,000,000	861,854	▲ 138,146	総会会場使用料、総会チケット印刷代等
支部総会会合費	160,000	124,920	▲ 35,080	支部総会会費、お土産代
通信費	70,000	82,604	12,604	葉書き、往復葉書き、切手等
印刷事務費	300,000	191,634	▲ 108,366	水陵会だより印刷代、ホームメンテナンス料等
交通旅費	200,000	265,640	65,640	支部総会旅費等
協力金振込手数料	0	13,800	13,800	
慶弔費	70,000	33,400	▲ 36,600	卒業記念品補助、昭和33年卒同期生会
消耗品費	5,000	196	▲ 4,804	祝儀袋
雑費	20,000	223,202	203,202	振込手数料、全国選抜掲載料等
支部助成金	200,000	200,000	0	東京・関西水陵会
予備費	1,390,600	0	▲ 1,390,600	
次年度繰越	0	1,664,962	1,664,962	
合計	3,415,600	3,662,212	246,612	

令和元年度役員

名誉会長	杉原弘一郎(昭36南商)	前会長
会長	門脇一男(昭50南商)	
顧問	永野智之	学校長
	澤田裕二	前学校長
	吉岡成幸	元学校長
	友松文嗣	元学校長
	谷野史郎	元学校長
副会長	尾澤三夫(昭38南商)	
	竹上順子(昭49南商)	
	松本二三子(昭60南商)	
監事	松本正福(昭43境商)	
	遠藤聖(昭44南化)	
	矢倉貴志(平3南商)	
常任理事	岩崎学(昭34南商)	
	堀田裕一(昭42南商)	
	大谷正明(昭42南商)	
	富本信一(昭44南商)	
	井原栄(昭50南商)	

東京水陵会

会長	井田年厚(昭40南商)
事務局	谷幸代(昭45南商)

関西水陵会

会長	遠藤稔(昭35南商)
事務局	内藤幸子(昭33南商)